

活動報告

団体名	大牟田市社会福祉協議会
活動名	地域住民の支えあいをつくり、今後の住まいを守るための床下講習会
活動期間	2020/08/10～2020/08/19
活動の成果	講習会後から会場でサーキュレーターへの借用希望の声が次々と出て、講習会後も床下を確認した住民からのサーキュレーター借用希望者が増加した。また、講習会に参加した住民から床下について話を聞いた近隣住民からのサーキュレーターの借用希望の声も増えた。講習会に参加できなかった住民の中にはチラシを見て講習会の配布資料がほしいとの希望者や、またサーキュレーターの借用希望者が増えた。床下に関する相談が増え、床下の手入れへの関心が高まったことは、浸水被害に対する知識と関心の低かった住民にとってこの講習会が大変効果的であったと思われる。
寄付者へのメッセージ	大牟田市では令和2年7月豪雨で観測史上初めて24時間の降雨量446.5mmを経験し、市内各地で床上や床下浸水に見舞われました。これまでに経験したことがない大雨での水害対応ということもあり、浸水被害家屋の早期復旧に向けて右往左往している状況でした。自然災害も少ない土地ですので、大牟田市で初めての災害ボランティアセンター設置となり、さらに新型コロナウイルス感染対策もしながら災害ボランティアセンターの運営となりました。ボランティア活動者の募集範囲も4市2町に限られたこともあり、活動者としての人材や床下に関する知識や資材等も乏しく、床下に関する相談は対応が難しい状況でした。しかしながら、床下に関する講習を引き受けてくださる方に繋がったことにより、皆様からの寄付で集まったこの助成金を活用させていただいたおかげで、住民同士の支えあいをつくり、今後の住まいについて考える床下講習会の開催ができ大きな第1歩を踏み出すことができました。みなさまのご厚意に大変感謝申し上げます。今後も住民同士の支えあいと共に安心できるまちづくりに向けて精進してまいります。この度は皆様のご支援誠にありがとうございました。

(活動のようす)

